

2019年度 事業報告（総括）

公1 鍼灸医学に関する研究の進歩普及を図るため、学術大会、支部学術集会などを実施する事業

- 1) 第68回（公社）全日本鍼灸学会学術大会（愛知大会）の開催
2019年5月10日(金)～12日(日)の3日間:名古屋国際会議場 参加総数 1970名
- 2) 支部学術集会の開催
 - (1)北海道支部：2019年11月10日：札幌サンプラザ 参加者数51名
 - (2)東北支部：2019年6月16日：東北大学 参加者数71名
 - (3)関東支部：2019年11月24日：埼玉医科大学かわごえクリニック 参加者数212名
 - (4)中部支部：2019年11月10日：金沢商工会議所 参加者数47名
 - (5)近畿支部：2019年11月23日：明治東洋医学学院専門学校 参加者数71名
 - (6)中国四国支部：2019年10月27日：松山市男女共同参画推進センター 参加者数62名
 - (7)九州支部：2019年10月6日：大分商工会議所 参加者数117名
- 3) 学術大会実行委員会への参加及び企画調整
- 4) 学術大会発表応募抄録の審査委員会の開催

公2 鍼灸医学の学術の向上と普及を図るため調査、資料収集を行う事業

- 1) 鍼灸の有用性・安全性・経済性に関する情報収集と発信
- 2) 国民のための鍼灸医療推進機構(AcuPOPJ)の活動参加
- 3) データベース委員会：JACLIDの充実、維持管理文献評価研修会の継続
- 4) 海外鍼灸関連情報の収集と日本への紹介及び日本鍼灸関連の海外への紹介
- 5) WHO、世界鍼灸学会連合会(WFAS)、ISO/TC その他国際機関の情報収集・調査・紹介
- 6) 鍼灸関係用語の収集・整理と日本鍼灸用語集の編集

公3 鍼灸医学の学術の振興を図るための助成事業

1. 公募研究助成の継続

鍼灸医学に関する研究の進歩普及を図り、学術の発展に寄与することを目的とする。

研究期間：1年間（2019年7月～2020年3月）

予算総額：80万円（40万円ずつ2件）

公4 鍼灸医学の発展普及を図るため学術雑誌などの発行や鍼灸医学の情報を公開する事業

- 1) 全日本鍼灸学会雑誌の発行：年4回発行(69巻2号～70巻1号)
- 2) オンライン英文雑誌の発行
- 3) 学会Webサイトによる情報発信
- 4) メールマガジン、FAXマガジンの配信
- 5) 学術大会Webサイトによる情報発信
- 6) 電子投稿システム(Editorial Manager)の運用

その他の事業

学会が認定する認定登録鍼灸師を育成するため、学会在籍5年以上の正会員で、別に定める履修基準を満たしたものに、認定試験を経て認定証を付与する事業及び学会会員の優秀なる研究業績に対して表彰する事業

- 1) 認定登録者への認定証の交付
- 2) 高木賞選考委員会開催及び奨励賞1名に授与
- 3) e-ラーニングの構築

会議など

1. その他この法人の目的を達成するために必要な事業
 - 1) 入会審査の実施
 - 2) 支部活動の支援
 - 3) JLOM 部関連会議
 - 4) 鍼灸医学の啓蒙と普及：一般向けの公開講座、講演会の開催
2. 会務を円滑に運営するために次の会議を行う
 - 1) 通常総会：2019年5月11日(土) 名古屋国際会議場
 - 2) 理事会：2019年4月21日(日) 東京医療専門学校代々木校舎
2019年5月10日(金) 名古屋国際会議場
2019年12月1日(日) TKPスター貸会議室 代々木/カンファレンスルーム6
2020年2月16日(日) 東京医療専門学校代々木校舎
 - 3) 常務理事会(業務執行理事会)：
2019年5月10日(金) 名古屋国際会議場
2019年9月7日(日) TKP 新大阪ビジネスセンター/ミーティングルーム4D
 - 4) 顧問参与会議：2019年5月10日(金) 名古屋国際会議場
 - 5) 諮問委員会：2019年5月10日(金) 名古屋国際会議場
 - 6) その他の会議
 - ① 支部運営委員会
 - ② 選挙管理委員会
 - ③ 予算検討委員会
 - ④ 定款等改正検討委員会

- ⑤利益相反委員会
 - ⑥国際シンポジウム委員会
 - ⑦認定委員会
 - ⑧JLOM 部関連会議
 - ⑨AcuPOPJ 関連委員会
 - ⑩グランドデザイン改革推進委員会
 - ⑪懲罰委員会
 - ⑫施術事故等緊急対策委員会
 - ⑬用語委員会
 - ⑭鍼灸安全性ガイドライン委員会
- 各部委員会及び小委員会

3. 諸規程の制定及び改定に関すること

- 1) 諸規程の見直しと改正
- 2) 諸規程変更に伴う組織変更
- 3) 内閣府への報告